

平成30年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第2回）議事要旨

1 日 時 平成30年7月25日（水）9：25～11：45

2 場 所 新見市役所南庁舎 1階会議室1B

3 出席者

(1) 評価委員会 田中委員長、中西委員、赤木委員

(2) 事務局 小林課長、難波補佐、稲岡主事

4 議 事

(1) 平成29年度実績報告書及び財務諸表の評価等について

第1回評価委員会での新見公立大学からの説明に基づき、各委員が意見を発表した。

今回の審議結果に基づき、次回評価委員会（8月2日（木）9：30～）では、事務局がとりまとめた項目別実績報告書（案）及び全体評価結果（案）についての内容確認を行うこととなった。

詳細は、以下のとおり。

委員発言要旨	事務局発言要旨 〔 ○は質問に対する回答 ●は自発的な発言 〕
<p>[項目別評価]</p> <p>I. 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p> <p>○各学科において積極的に地域に出向いて活動しているが、学生・地域両者にとってよいことであり、評価できる。</p> <p>○国試の合格率が高いだけでなく分母(受験者数)も多い。学生の頑張りだけではなく、学校の支援体制もしっかりしていることの表れではないか。</p> <p>○看護学研究生13人のうち、3期生9人に比べ、4期生は4人と少ないが問題はないのか。</p> <p>○地域貢献活動を数多くしていること、医療機関と連携して地域の医療向上に努めて</p>	<p>○定員は5人であるが、成績によって定員以上に合格とすることがある。</p>

<p>いる点は、毎年のことであるとは思いますが評価できた。</p> <p>○助産師の国試合格率をみると大幅な改善が見られた。</p> <p>○助産学専攻科の実習施設は新見市内にあるのか。</p> <p>○幼児教育学科において、長年「にいみこどもフェスタ」を開催しており、昨年度から名称変更しているが、毎年反省・総括を繰り返しながらやっていくことはよいことである。</p> <p>○英語教育は重要であり、4年制に伴い教員の確保をしているところと思うが、学生の意識も変えていかなければいけない。</p> <p>○積極的に英語サロンを実施している。</p> <p>○海外研修を積極的にしている印象である。積極的に機会を増やしてあげるとよい。</p> <p>2) 教育の実施体制</p> <p>○年間読書冊数調査を実施しているが、若者の読書離れが進んでいるため、引き続き続けていただきたい。</p>	<p>○学生1人当たり10例の分娩介助の実習が必要であるが、市内ではお産件数が少ないこと、指導できる助産師がいないことから、市外の4施設（倉敷成人病センター、倉敷中央病院、落合病院、たんぼぼ助産院）で実施。</p> <p>○学生6名の内訳は市内3名、市外3名。</p> <p>○講義は主に大学で受けるが、講義の先生によっては「くらしきサテライト」を使用することもある。</p> <p>●「にいみゆめのぽけっと」では学生の発表の場だけではなく、子どもも参加できる内容を数多く盛り込んだものとなっている。</p>
---	--

<p>○授業評価の回答率が低いということだが、やるからには回答率を上げ、授業改善につなげることが必要である。</p> <p>2 研究</p> <p>1) 研究の内容</p> <p>○国試の合格率、全国から教員が集まっていることを、市民、市内高校生・保護者へ情報発信すべき。</p> <p>○情報発信は目的意識の高い学生の獲得につながる。</p> <p>2) 研究の実施体制</p> <p>○申請件数は増加しているが、新規採択が少ない。</p> <p>3 学生の確保及び支援</p> <p>1) 学生確保</p> <p>○教員は自分の研究をしながら高校訪問もよくしている。</p> <p>○「出願に伴う事前相談」でどのような配慮をしたのか。</p> <p>○高大接続システム改革はどういったものか。</p>	<p>●オンラインシステムへのアクセスが複雑な点が、回答率が低い要因と考えられる。システム改修中。</p> <p>●来年度から1学部3学科体制となる上で、3学科が合同で学ぶ科目を配置した点が、大学として強調している点である。</p> <p>●大学の活動状況、教員の研究分野をもう少し市民へ情報提供すべき。</p> <p>○助産学専攻科1件。補聴器を使用しての受験を希望する相談であったが、結局受験しなかった。</p> <p>看護学研究科1件。視力低下が著しく、複数の眼鏡の付け替えで時間を要するため、別室で時間を延長しての受験を許可した。</p> <p>○高校側の学力向上、大学側の受入体制の充実について、文科省が全国的に推進するために示したもの。</p>
--	--

<p>○少子化が進んでいる中で、定員以上の受験者を確保していることはすばらしい。4大化後の学生の確保について、大学だけではなく市としての受入体制を進めていかなければいけない。</p> <p>○受験生が減ってくるため、今後の学生確保を今から頑張っていく必要がある。</p> <p>2) 学生の支援</p> <p>○GPAが低い学生への個別指導は手厚い支援であり、保護者からしても安心できる。</p> <p>○担任制で学生を指導することはよいところである。</p> <p>○文科省は授業料収入予定額の11%目指すようにとある中で、現状の中で最大限減免を行っているのではないか。</p> <p>○保健管理センターの役割は大きい。学生・教員へのメンタルヘルスの支援、精神健康度調査の実施により、心身の支援が行われた上で教育が行われている点は評価できる。</p> <p>II. 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 地域社会への貢献</p> <p>○もう少し気楽に学生自身が地域活動に参加してもらえればよい。学生・地域にとってよいことであり、大学に親近感が生まれるのではないか。</p> <p>○「鳴滝塾」に若者がもっと参加してほしい。</p> <p>○大学が主催となり地域をよくしようという意識は伝わるが、大学以外が主催とな</p>	<p>○担任制は基本的には持ち上がり制。</p> <p>○開催日が土曜日の昼間であるという影響もあり得る。</p>
---	---

<p>るもの（ふるさと祭り等）への関わりが少ないように感じる。日常で大学生が地域にいと、自然と一体感が出てくるのではないか。</p> <p>○学科の特性上、就学前の子どもに焦点が当たすることは理解できるが、小・中学生をターゲットにした取組が必要。地域枠もあるので、中学生から新見公立大学で学びたいという意識を持たせるとよい。</p> <p>Ⅲ. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善及び効率化</p> <p>○公文学長の明確なビジョンのもと、取り組まれている。</p> <p>2 人事の適正化</p> <p>○人手不足の中、適正に教員を採用できている。</p> <p>Ⅳ. 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 自己収入の確保</p> <p>○特になし</p> <p>2 外部資金の獲得</p> <p>○特になし</p> <p>3 経費の抑制</p> <p>○プロパー職員化について考えてもいい時期ではないか。慎重に検討を進めていただきたい。</p> <p>○プロパー職員は熟練度（特に財務関係）が高く、事務処理が早いというメリットが</p>	<p>●経営審議会で社会貢献度が高いとの評価を受けて、自己評定で「4」を付けている。</p> <p>○市から派遣する体制であると、人員調整（大学の規模によって派遣人数を増減）はしやすいが、専門性には欠ける。</p>
--	---

<p>ある一方、市としては統率がとりにくくなる。また、専門的な分野はプロパー職員が担当するとなると、その人しかやり方がわからない状態となり、属人化して組織が硬直化し、不正が起きやすくなるというデメリットがある。</p> <p>○プロパー職員を市職員として採用し、大学に配置するというやり方があるのではないか。</p> <p>V. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 自己点検及び自己評価</p> <p>○特になし</p> <p>2 情報公開及び情報発信</p> <p>○通常の大学が行っている情報発信はできている。</p> <p>○新見公立大学を知ると誇らしい気持ちになる。</p> <p>○さらに新見市民へ大学の動きをよりわかりやすく情報発信して欲しい。</p> <p>VI. その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 施設・設備の整備及び活用</p> <p>○大学官舎が古めかしいため、いい人材確保のためにも、必要な措置をとって欲しい。</p> <p>2 危機管理及び安全管理</p> <p>○豪雨災害を受けて気づくこともあったと思うので、再度対応について検討してはどうか。</p> <p>VII. 予算、収支計画及び資金計画</p> <p>※「財務諸表」「決算報告書」を確認し</p>	<p>●この度の豪雨災害で、学生が80人程度、大学へ避難した。</p>
--	-------------------------------------

<p>た上での意見</p> <p>○会計士によるチェックも入っており、特に問題ない。</p> <p>VIII. 短期借り入れの限度額</p> <p>○特に問題なし。</p> <p>IX. 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画</p> <p>～該当なし～</p> <p>X. 前号に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</p> <p>～該当なし～</p> <p>XI. 剰余金の使途</p> <p>※「財務諸表」「決算報告書」を確認した上での意見</p> <p>○会計士によるチェックも入っており、特に問題ないと思うが、退職給付引当金について、計上すべきか確認すべき。</p> <p>XII. 新見市地方独立行政法人方施行規則で定める事項</p> <p>1 施設整備及び設備に関する計画</p> <p>○特になし</p> <p>2 中期目標の期間を超える債務負担</p> <p>～該当なし～</p>	<p>○確認する。</p> <p>●7月から基礎工事に着手済。現状は計画どおりのスケジュールで進行中。</p> <p>●既存施設の改修計画については、資金の関係で調整中。</p>
---	---

<p>3 地方独立行政法人方の規定により業務の財源に充てることができる積立金の使途 ～該当なし～</p> <p>4 その他法人の業務運営に関し必要な事項 ～該当なし～</p> <p>[全体評価]</p> <p>○新見市民にとって、新見公立大学は新見市の宝だという認識がないので、市民に対するPRをもっとすれば、より地域に溶け込める。</p> <p>○市外からの入学者も大切だが、新見市（特に新見高校）からの進学者が増えて欲しい。早い段階から新見公立大学を目指す意識づくりをして欲しい。</p> <p>○人（学生・教員地域住民）が集まる場所となって欲しい。そのために、新見市民の高い理解と、経済界、小・中・高との協力が必要である。</p>	
--	--

(2) 次回開催日について

- ・平成30年8月2日（木）9時30分から、市役所本庁舎3階第5委員会室で開催することとした。

以上